

学生向けオープン講座「金融ビジネスを理解する」(報告)

- 主催: 平和不動産株式会社
- 共催: 札幌市、北海道大学広報・社会連携本部社会連携部門/
産学・地域協働推進機構スタートアップ創出本部
- 協力: Team Sapporo-Hokkaido
- 開催日時: 令和7年10月23日(木)18:00~20:00
- 会場: 北海道大学 エンレイソウ
- 参加人数: 約40名(登壇者・関係者含む)
- 内容:

- ・開会の挨拶

- ・パネルディスカッション「**金融ビジネスを理解する**」

- パネリスト: 木村 大樹 氏 (Keyaki Capital株式会社 代表取締役CEO)

- 岡崎 貴彦 氏 (PINECONE Holdings株式会社 投資ディレクター)

- 中安 祐貴 氏 (株式会社みんせつ 代表取締役)

- モデレーター: 牧之瀬mumu氏 (一般社団法人国際資産運用センター推進機構(JIAM))

- ・グループディスカッション(グループごとに登壇者へ直接質疑応答)

- ・次回(11/27(木))のご案内 ※次回は別の登壇者3名にて実施予定



パネルディスカッション パネリスト発言要旨

<木村氏>

- ・2020年に会社を設立。音楽著作権やマリナーなど、日本では個人にあまり提供されていない資産が投資対象。
- ・自分のビジネスでは「人との繋がり」と「投資の本質」が大事。投資の本質は「リターン」が生まれること。投資家のお金がプロの目利き(ファンド)を通じて優れた資金需要者に提供され、リターンを生み、投資家に戻る「資金循環」の実現を目指している。
- ・米国のベンチャーキャピタルである「アルムナイ・ベンチャーズ」と業務提携を始めた。優れた技術を持つベンチャー企業が海外の投資家と繋がることで、海外展開や大規模な追加出資の可能性が開かれる。

学生向けオープン講座「金融ビジネスを理解する」(報告)

<岡崎氏>

- ・持株投資会社として、転売目的ではない超長期での非上場中小企業の株保有を通じて、社会課題である事業承継問題の受け皿となり、企業の永続的な成長を支える。2024年1月から投資活動を始め、本日5社目の譲り受けが決まった。
- ・金融は「血液」であると捉え、企業に溜まる内部留保や、ゆくゆくは一般投資家からの資金を成長分野への再投資として循環させ、優れた技術の継承と日本経済を活性化させる役割を果たしていきたい。
- ・北海道は世代交代の時期にあり、オープンなマインドを持つオーナーが多いため、事業承継のチャンスも多い。今後PINECONEの事業を全国的に拡大させていくことで、多様な働き方を実現できる選択肢を提供したい。

<中安氏>

- ・2015年に設立。「みんせつ」とは「みんなの説明会」の略。証券会社で10年間アナリストをやっていた経験を活かして、国内に4,000社ある上場企業のほぼ全ての決算説明会情報を集約・提供するプラットフォームを運営している。
- ・情報開示は企業側の義務だが、会社の価値を理解してもらうことで株価の適正化に繋がる。機関投資家やアナリストと個人投資家との情報格差をなくすとともに、AIなどの最新技術で、企業側の負担を減らす環境作りも目指す。
- ・起業時には、他に負けない自分の強みを活かそうと考え、長らく業界内の課題となっていた「決算情報の集約化」に目をつけた。誰もやっていないことをすることで、他者に置き換えられない存在となる。インターンも大歓迎。

グループディスカッションの様子



○参加者からの意見・感想等

- ・難しい話ばかりかと思い少し身構えていたが、金融について一から教えていただけたことで業界についての理解を深めることができた。
- ・専門は異なるが、金融のことについても勉強して、将来に役立てたいと思う。
- ・グループワークがローテーションだったので、登壇者と直接話す時間が三者とも短かった。
- ・金融業界に関する知識だけではなく、就職活動中の自分にとって将来のキャリアプランを考える上で多くのヒントを頂いた。